

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 19号)

平成30年 3月30日発行
 兵庫のみ研究所

穏やかな天候が続いていますが、栄養塩を消費する植物プランクトンはほとんど確認されません。しかし、窒素は地先の一部調査地点を除きこの海域全般に1~2 μg at/L台と低い状況にあります。

(水温) 漁場内平均10.4℃。平年比0.3℃高く、昨年比0.3℃低い。(塩分) 平均31.79psu。前回調査(31.62)より0.17psu高い。(栄養塩、珪藻) ユーカンピアは別府地先周辺で少し確認されただけであった。小型のキートセロスが一部調査地点でわずかに見られた程度と珪藻の発生は非常に少ない。大阪湾では3月上~中旬の降雨により湾奥の栄養塩は高い状況であるが、湾全体ならびに明石海峡部周辺海域の栄養塩上昇には至っていない。今回調査は上げ潮時で、江井ヶ島地先から二見東部周辺の沖筋にかけて大阪湾から流入する海水の影響が見られており、この海域で窒素は1 μg at/L台と低い値であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.0	10.4	10.1	10.7
窒素	3.6	2.1	3.0	2.2
リン	0.37	0.21	0.27	0.27

(3/22) (3/31)

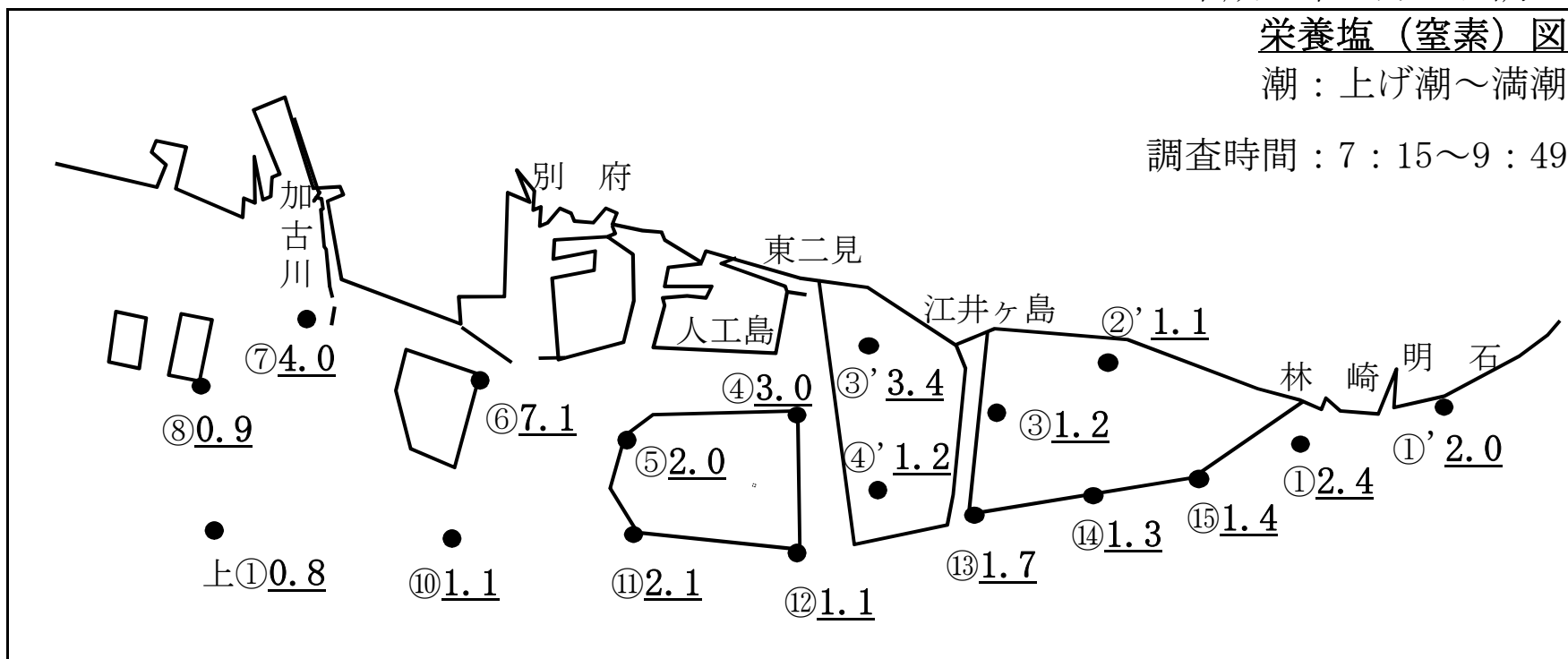
西播地先					
伊保地	水温	10.7℃	伊保沖	水温	10.7℃
	窒素	2.2		窒素	1.5
	リン	0.16		リン	0.14
白浜地	水温	12.0℃	白浜沖	水温	11.5℃
	窒素	0.8		窒素	0.6
	リン	0.07		リン	0.09

平成30年 3月30日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮~満潮

調査時間：7:15~9:49



水温図

